

車のかたち 早見表 ・ ・ ・ その形は、何のために生まれたのか

◎＝得意／○＝ふつう／△＝苦手。形を選ぶとは、何をあきらめるかを選ぶことでもあります。弱点の欄も必ず読んでください。

価格帯は新車のおおよその目安です。年式・装備・時期で動くので、参考の幅としてご覧ください。

かたち 生まれた理由	人数 実用の目安	荷物 積載	取り回し 狭い道・駐車	燃料代 維持のしやすさ	価格帯 新車の目安	いちばん得意なこと	あまり言われない弱点
軽（背が低い） 誰でも持てる車を	2	△	◎	◎	100万円台～	維持費がいちばん安い。狭い道と小さな駐車場に強い	高速や長い坂で力と静かさに不満が出やすい
軽（背が高い） 限られた枠で室内を最大に	4	○	◎	◎	140万円台～	乗り降りが楽。子どもや高齢の家族がいる家庭に効く	背が高く横風に弱い。人気車は値引きが渋く新車も安くない
コンパクトカー 軽より少し余裕がほしい	4	○	◎	◎	170万円台～	街乗りと遠出の両方をそつなくこなす。総合力が高い	大人4人＋荷物だと窮屈。突き抜けた長所は少ない
セダン 人と荷物の空間を分ける	4-5	○	○	○	250万円台～	静かさと高速の安定。大人が長距離を移動するのに最適	開口部が狭く大きな荷物は積めない。選べる車種が減っている
ステーションワゴン 走りのまま荷物も積む	4-5	◎	○	○	280万円台～	背が低いまま荷物が積める。高速の安定と積載を両立	車種が少なく中古でも探しにくい。全長が長め
ミニバン 家族全員と荷物を一度に	5-7	◎	△	△	280万円台～	3列で人を運べる。スライドドアで乗り降りが楽	3列目を使うと荷物が積めない車がある。重くタイヤ代もかさむ
SUV 悪路の車を街でも使う	4-5	○	○	○	220万円台～	見晴らしがよく、雪道や荒れた道に強い。人気で下取りも堅い	重心が高い。車高のぶん立体駐車場に入らないことがある
クーペ・オープン 運転する時間そのもの	2	△	○	△	300万円台～	運転の楽しさ。所有する満足。趣味として代えがきかない	後席と荷室が実用的でない。維持費も高めになりやすい
軽トラ・軽バン 仕事の道具として	2-4	◎	◎	◎	100万円台～	狭い道でも荷物を運べる。維持費が安く丈夫	乗り心地と静かさは割り切りが要る。長距離は疲れる
ピックアップ 汚れるものも運ぶ	4-5	◎	△	△	400万円台～	荷台が外にあるので汚れる荷物を気にせず積める	全長が非常に長く、日本の駐車場では場所を選ぶ

🧐 迷ったときの考え方

「いちばん多い使い方」で選んでください。年に2回の帰省のために3列シートを買うと、残りの363日を大きな車で過ごすことになります。年2回はレンタカーという手もあります。

💡 展示車で必ずやること

3列目に実際に座る。3列目を立てたまま荷室にスーツケースを置いてみる。この2つはカタログの数字では分かりません。展示車でしか確かめられない差です。

⚠️ 形を選ぶ＝あきらめを選ぶ

背を高くすれば室内は広くなるが横風に弱くなる。車高を上げれば悪路に強くなるがカーブでの安定は落ちる。どの形にも必ず代償があります。弱点に納得できたなら、それは正しい選択です。